お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）
禁止	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）		
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。

点検

■６ヶ月に１回、外観及び機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。[消防庁告示第３号と第14号]

■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。[消防法施行規則第31条]

ランプについて

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

「ランプについて」
○暗い所で放置すると、周囲が暗い状態（数ルクス以下）では点灯しにくい場合がありますが、周囲を明るくすれば点灯します。
○周囲温度が５℃以下の場合、ランプの輝度、寿命が著しく低下します。
○多灯用のランプを交換するときは、全てのランプを一斉に交換してください。

「ランプモニタ」について
ランプモニタ（赤）
赤色のランプモニタは「ランプの寿命」をお知らせするものです。
ランプの累積点灯時間が60,000時間（ランプの寿命は約60,000時間です）に達すると赤色に点灯しますので、新しいランプと交換してください。
（注）ランプ外れ等の異常時にも点灯します。

適合ランプ　CF220T4EN-M

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
○ランプはリフレクタに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）
○使用済みのランプは不用意に割らない（ガラスが飛散してけがの原因）
○ランプの電線を引っ張らない（ランプ破損の原因）

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

点灯検査

点検スイッチはついていません。点検する場合は、下記の手順で行ってください。
１．常用電源を切る。
２．非常電源装置により通電し、非常点灯するかを確認してください。
（常用電源が入った状態では、非常点灯の確認はできませんのでご注意ください）

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船２-14-40
☎（0467）41-2728（施設照明営業課）
☎（0467）41-2773（品質保証部サービス課）

MITSUBISHI

E766Z800G03　E766Z800H24

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

三菱避難口・通路誘導灯【電源別置形】

保管用

形名　**KST2731**（B級・BL形・片面灯）　**KST4732**（B級・BH形・片面灯）
KST2742（B級・BL形・両面灯）　**KST4744**（B級・BH形・両面灯）

取扱説明書

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）
		禁止	電源線は器具の外郭に直接触れない。（過熱して火災の原因）
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	雨水のかかる場所で使わない。（水気・湿気が入り感電の原因）
			表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）
	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）		狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）		
	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）		工場等での特殊環境（油類噴霧状態等）では、使用できません。

お願い

■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
■直流点灯用の専用器具として長時間の使用はできません。直流点灯時間は２時間以内としてください。
■インバータ器具の近くで、赤外線リモコンやテレビ・ワイヤレスマイク・ラジオなどを使用しないでください。雑音が入ったり正常に作動しない場合があります。
■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。（蓄電池の寿命が低下することがあります。）
■24時間以上充電していない場合は、ランプが正常に点灯しない場合（立消え、点滅、点灯時間が短い）がありますのでご注意ください。

定格

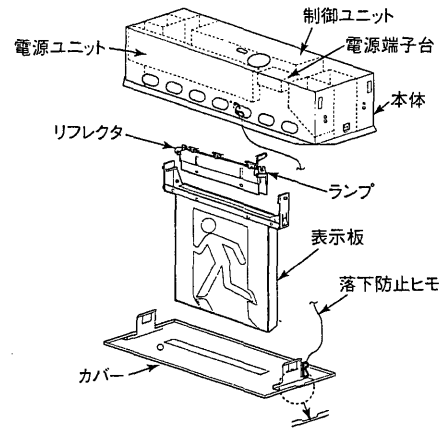
	平常時				非常時			
	KST2731	KST2742	KST4732	KST4744	KST2731	KST2742	KST4732	KST4744
使用ランプ	CF220T4EN-M				CF220T4EN-M			
	1灯	2灯	2灯	4灯	1灯	2灯	2灯	2灯
定格電圧	AC100V				DC100V			
入力電流	0.13A	0.19A	0.19A	0.32A	0.04A	0.065A	0.065A	0.075A
入力電力	5.6W	9.2W	9.2W	16.8W	4W	6.5W	6.5W	7.5W
定格周波数	50/60HZ				50/60Hz			

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

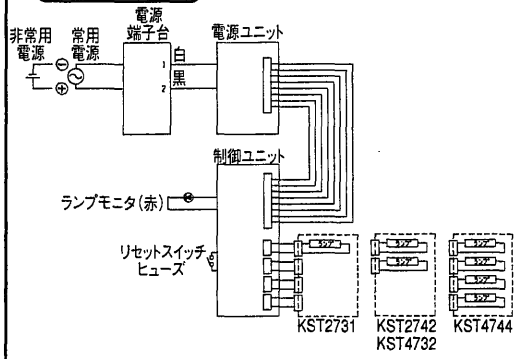
各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

E766Z800G03　E766Z800H24

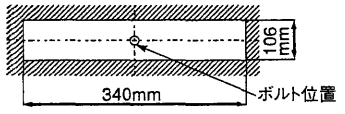


接続図

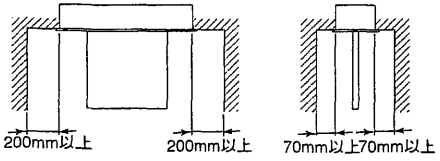


1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。
○天井に下図のような埋込穴とボルトを設ける。



○取付工事のため次のように器具の両側に下図のような余裕を設けてください。

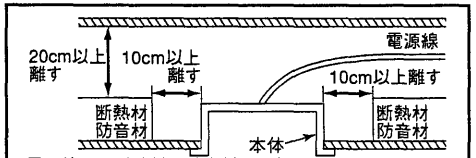


⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

2 器具本体を取付ける

(1) 電源線・アース線を器具本体の電源穴から引き込んでおく。

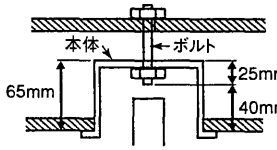
(2) 天井裏に断熱材・防音材がある場合、器具からの距離を下図のように設けて器具の熱がこもらないように施工してください。



電源線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。

(3) 器具を取付ボルトに確実に取付ける。
※器具の中へのボルトの出寸法は表示板に当たらないようにするため、25mm以下にする。
※ナットの締付トルクは0.7～1 N·mです。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因



ご注意
器具の方向性に特に注意して取付けてください。

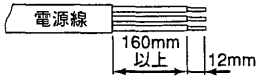
KST2731
KST4732　点検スイッチが表示面側となります。

KST2742　器具本体には方向性があります。
表示板の矢印を確認してから本体を取付けてください。

KST4744には、方向性はありません。

3 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線の皮むき寸法は次のようにする。



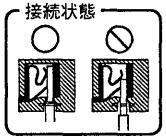
シースは160mm以上皮むきして、必ず保護チューブ（付属）を被せてから結線してください。

(2) 電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
電源線は電源端子台に押しつけるように小さく曲げる。

⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

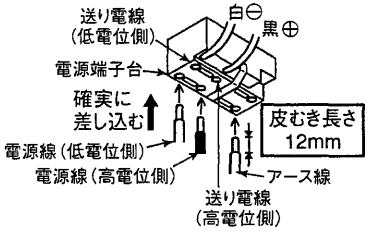
<D種（第3種）接地工事が必要です。>
○電源端子台の容量は20Aです
○適合電線：φ1.6mm単線　φ2.0mm単線

接続状態



⚠警告
送り配線は誘導灯専用とし、容量を確認して接続する
（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

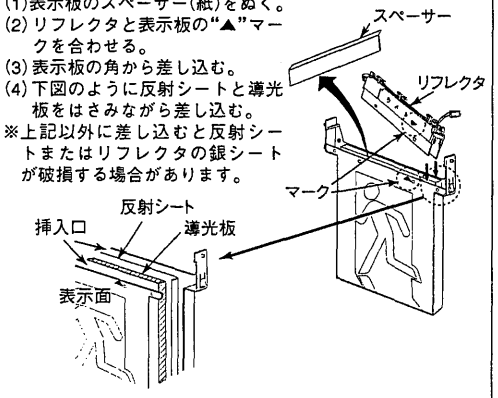
⚠警告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）



○直流電源には極性がありますので、器具の表示通り結線してください。極性を間違えると部品を破損しますので十分ご注意ください。
○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

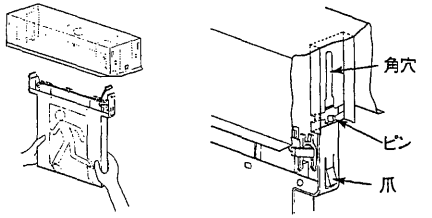
4 表示板(別売)にリフレクタを取付ける

(1) 表示板のスペーサー(紙)をぬく。
(2) リフレクタと表示板の"▲"マークを合わせる。
(3) 表示板の角から差し込む。
(4) 下図のように反射シートと導光板をはさみながら差し込む。
※上記以外に差し込むと反射シートまたはリフレクタの銀シートが破損する場合があります。

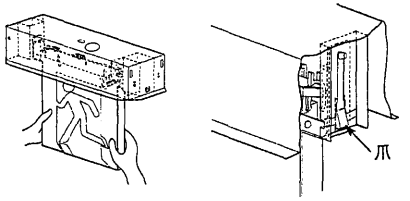


5 表示板を本体に装着する

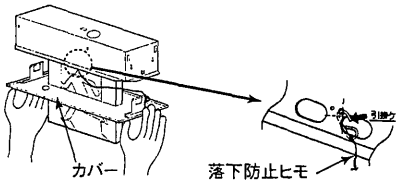
(1) 点検スイッチ側と表示面を合わせる。(KST4744を除く)
(2) ピンを角穴にのせる。



(3) ランプのコネクタを本体側に差し込む。
(4) 表示板を平行に押し上げ、爪を角穴に掛ける。



(5) カバーをランプモニタと位置を合わせ、表示板を通してから落下防止ヒモを本体の穴に引っ掛ける。
(6) カバーを押し上げる。



⚠注意
○非常点灯（直流点灯）は連続で2時間以上は点灯しないでください。故障及び非常点灯しない原因となります。
○誘導灯の非常電源は蓄電池に限定されています。発電機は使用できません。
○電源電圧はAC100V±6V、非常時DC100V（変動範囲DC85V～145V）以外では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。
○2線配線専用です。常用電源と非常用電源は共用配線で接続してください。

お客さまへ

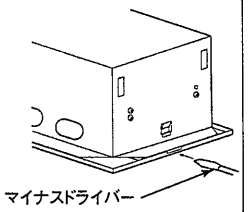
ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

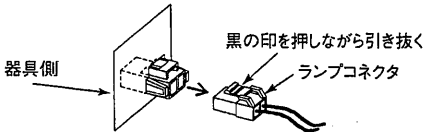
ランプ交換・器具の清掃 ―⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

(1) カバーの側面部の切り欠き穴に、マイナスドライバーを差し込み、はずす。
(2)落下防止ヒモをはずす。
(3) カバーを取り外す。
(4) 蓄電池のコネクタをはずす。

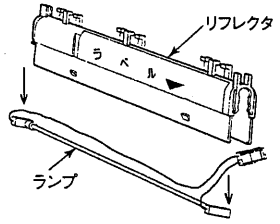


(5) 表示板の爪を本体の角穴からはずし、表示板のピンを角穴に掛ける。
(6) ランプのコネクタをすべてはずしてから、表示板を取り外す。

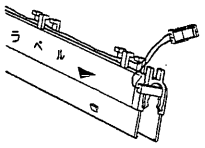


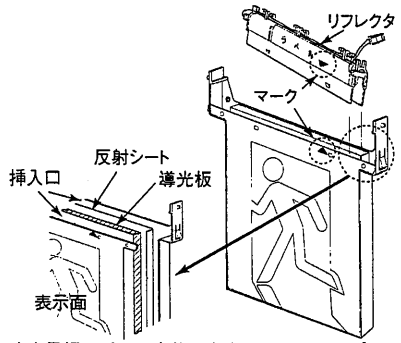
(7) 表示板からリフレクタをはずし、ランプをはずす。

⚠注意
ランプの両端部を持ってはずす
（ランプ破損の原因）

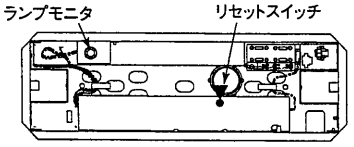


(8) ランプ交換後、ラベル側にランプ線を出すようにリフレクタに取付ける。
(9) リフレクタを表示板に取付ける。
(10) リフレクタと表示板の“▲”マークを合わせる。
(11) 表示板の角から差し込む。
(12) 右上図のように反射シートと導光板をはさみながら差し込む。
※上記以外に差し込むと反射シートまたはリフレクタの銀シートが破損する場合があります。

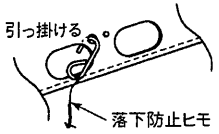




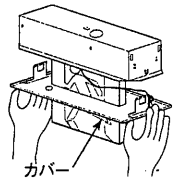
(13) 表示板のピンを本体の角穴にのせ、ランプコネクタを接続する。
（KST4744はコネクタを番号通りに本体側に差し込む。）
(14) 必ず制御ユニットのリセットスイッチを押す。



(15) 表示板を平行に押し上げ、爪を角穴に掛ける。
(16) ランプモニタの位置とカバーの穴の方向を合わせる。
(17) 表示板にカバーを通してから落下防止ヒモを図のように引っ掛ける。



(18) カバーを押し上げ、取付ける。



清掃

○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
○シンナー、ベンジン、磨き粉やたわし、熱湯、化学雑巾などは使用しないでください。

E766Z800G03　E766Z800H25

＜耐熱C種配線の例＞

電線の種類	工事種別	耐熱処理
600V架橋ポリエチレン絶縁電線	金属管工事 合成樹脂管工事	耐火構造とした主要構造部に壁体等の表面から20mm以上の深さで埋設してください。
600V2種ビニール絶縁電線		
耐火ケーブル（耐火電線）	ケーブル工事	露出またはシャフト、天井裏等に隠ぺいしてください。（無処理）
MIケーブル		

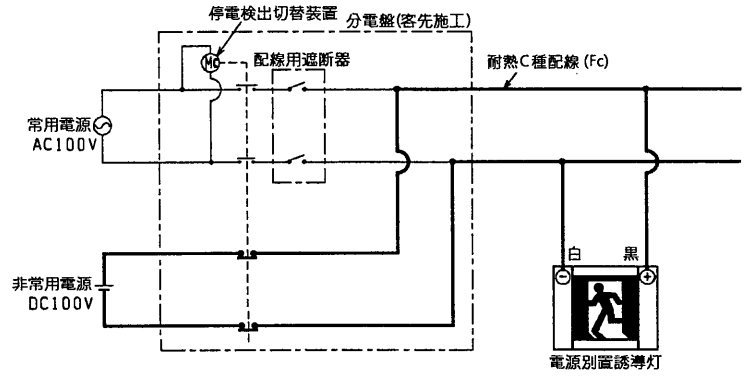
注．この器具の非常電源までの配線は、耐熱C種配線（Fc）としてください。

※耐熱C種配線（Fc）とは、840℃で30分の耐熱試験に耐える措置を施した配線をいいます。
施工場所や使用電線により、耐火措置の方法が異なります。

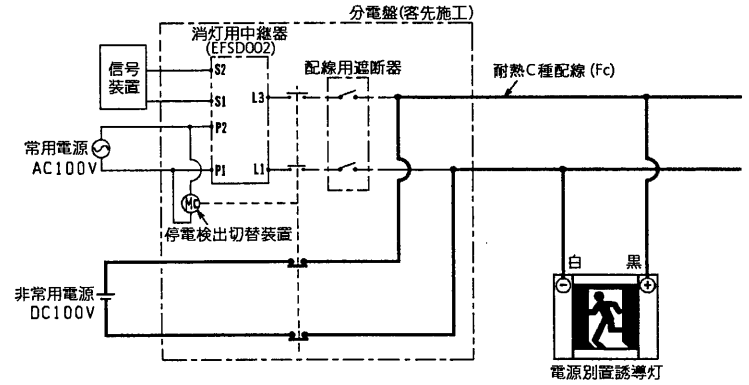
※耐火電線は「昭和53年消防庁告示第７号」に適合する電線であること。（原則として認定品であること）

＜配線方式＞

A.消灯しない場合の例



B.消灯させる場合の例
・誘導灯の消灯には、信号装置と消灯用中継器を接続します。



注．非常用電源はDC100Vです。極性を誤ると点灯しません。黒側⊕、白側⊖で結線してください。
信号装置、消灯用中継器の詳細は、個別の取扱説明書をご覧ください。

連絡先 三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船２-14-40
☎（0467）41-2728（施設照明営業課）
☎（0467）41-2773（品質保証部サービス課）